

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月17日

【評価実施概要】

事業所番号	2970200255
法人名	有限会社 かもん
事業所名	いまざと 元気村
所在地	奈良県大和高田市中今里町4 - 3 (電 話) 0745 - 53 - 1624

評価機関名	国保連合会
所在地	橿原市大久保町302 - 1
訪問調査日	平成19年12月17日

【情報提供票より】(19年11月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 5 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 4 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	4.8 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート1部木造造り 2階建ての1.2階部分
------	-------------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,750 円	その他の経費(月額)	15,750 円
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 925 円			

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	9名	男性	名	女性	9名
要介護1	5	名	要介護2		名
要介護3	4	名	要介護4		名
要介護5		名	要支援2		名
年齢	平均 81.11 歳	最低	73 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	八 - トランド信貴山・新田歯科・長澤医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>民家を改造した、こじんまりとした建物で1ユニットのみの事業所であり、現在の利用者は全員女性で、車イス使用者はありません。スタッフも全員女性でアットホームの感じで利用者の笑顔が印象的です。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回での主な改善課題としては、緊急時の手当については、全職員が消防署の訓練を受けています。なお、職員のストレス解消作として、外部と接する機会を設ける等されていますが、普段出されない職員の悩みを聞いたり支援してもらう機会としてスーパーバイザーの導入の検討については、取り組みが見られないことから、さらに検討されることを期待します。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で自己評価を理解し、サービス内容を改善するように取り組んでおられます。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>事業所の報告と地域への呼びかけを提案し、意見を吸収し地域と共に暮らすホームをアピールする取り組みをしておられます。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族へは常に状態を報告し安心してもらえる暮らしを伝えていきます。家族会も開いて本人への関心を常に呼びかけておられます。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>日常的な散歩での声かけ、あいさつを通じて、地域の住民であることを知ってもらい、日頃の連携を深められています。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての理念作りには取組まれておらず、理念は従来そのまま変えられていません。		地域のグループホームとして、地域の中でその人らしく生活することを支えるケアを目指した理念づくりの取り組みを期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、職員とミーティングで話し合い共有を図り、日々実践に取り組んでおられます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に参加し住民と共にクリーンキャンペーンにも参加する他、ホーム側からも交流を呼びかけておられます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全職員で行い、サービスの質の向上に努めておられます。第三者評価を各職員が読みこみサービスに活かされておられます。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にはホームの状況等を報告し検討された意見をできることから改善に取り組む等、サービス向上に活かされています。		地域密着型サービスは、地域で暮らし続けることや、認知症になっても自分らしく有する力を発揮しながら生きることへの支援です。ホームは地域密着型サービスの拠点として、取り組んで行きたいと考えておられますので、こうした支援の実現に向けて積極的な取り組みを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者に報告や情報提供する等、市と共に連携してサービスの質の向上に取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、家族への手紙に利用者の様子や金銭管理の報告をされています。緊急時には電話で連絡報告されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会で意見を聞き、苦情は家族と面談時に聞く等して、職員が全員で運営に反映させるよう取り組まれています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を重視して、異動や離職等の変動を必要最小限に抑えるよう努力し、職員が代わる時は、引継ぎ期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症基礎研修に参加し、レポートで報告提出し全スタッフが学習されています。リーダー研修の費用を事務所が負担し、働きながらのトレーニングをされています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者、職員は、他のグループホームや在宅のスタッフ、ケアマネ等の交流は頻繁にされています。そこではサービスの質を向上させるよう検討されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	見学、訪問をした後、体験入居をされる等、本人や家族等に相談しながら、本人が徐々に馴染めるよう工夫をされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	楽しかったこと、悲しかったこと等昔話を聞く等して、共感したり生活の知恵(漬物のつけ方、梅干の作り方、料理)等教えてもらう場面作りをして、本人とともに過ごし支えあう関係を気付くよう工夫されています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	本人にとってどこで、誰と、どのように暮らすことが最良なのかを家族を交え、話しあっておられます。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人、家族、必要な関係者と話し合いスタッフ全員でのチーム体制で話し合い介護計画をつくっておられます。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	6ヶ月に1回見直しを基本とし、期間前であっても、状況に変化があればその都度カンファレンスを行い現状に即した計画が作成されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	近隣住民や家族とのネットワークを生かした、出来る限りの支援されています。		地域密着型サービスとしてのグループホームの多機能性とは、地域の認知症高齢者や利用者と家族が安心して暮らし続けていくために必要な支援(機能)を、介護保険サービスや自主サービスを活かしながら提供して支援するものです。医療連携体制を活かして、利用者の負担となる受診や入院の回避、早期退院の支援、医療処置を受けながらの生活の継続、重度化した場合や終末期の回避等の取り組みに向けて検討されてはいかがでしょうか。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回のかかりつけ医の受診、本人の変化についての相談訪問指導等家族の希望に沿って支援されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化の過程で本人や家族かかりつけ医と早い時期から話し合い方針を共有されています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導をさりげなく行うことや、言葉使い等利用者のプライバシーや誇りを損ねないよう配慮し対応されています。個人の記録等の秘守義務について常に職員で話し合い徹底されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の生活の流れの中で、本人の希望を大切に支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人と一緒にメニューを考え、外部からの差し入れられた野菜中心の食事をスタッフも共に楽しみ、片付けも共にされています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、週3回で夕刻に入浴を設定し、利用者のペースに合わせて楽しめるよう入浴を支援されています。		希望やタイミングに合わせることを考えられていますので、職員ローテーション等で困難な場合もありますが、実現されることを期待します。
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	クリスマス会等発表の機会を作り本人の特技や役割を見出し、気晴らしや楽しみにできるよう支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日周辺の住宅街を散歩したり、希望があれば個別に外出できるようにも支援されています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の前が川であることから、安全確保のため門扉にはカギをかけられています。日中、玄関はカギをかけずに、見守り支援されています。		門扉には鍵がかけられていますが、地域密着型サービスとして利用者の自由な暮らしを支えるためのケアの実践を目指し、そのあり方を検討されてはいかがでしょうか。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害連絡表により素早く対応できるようにしておられます。運営推進会議で周囲の協力が得られるよう働きかけられています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェックしスタッフが情報を共有されています。管理栄養士の指導も受ける等支援されています。		
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所のそばに食堂があり続きの居間は、サンルームになっていて周りの緑が取り入れられ居心地良く、過ごせるように工夫されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具の持ち込みは、少ないが家族と相談されて、少しずつ増やすように支援されています。		